

**■08年度の全体レビュー & 09年度のテーマと課題 (戸谷会長)**

非常に活発で盛大な一年間だった。ベテランかつ実績のあるセラーが、マッチの新人として多く参加してきた年でもある。

地道な活動に加え、積極的な広報活動も功を奏したようで、ほとんどすべての公式戦がフルエントリーとなり、マッチレスの認知、人気ともに上がってきた。マッチレスが市民権を得たことを実感する年だった。本年度の目標として「フルエントリー」と「新規参入者」の獲得を掲げてきたが、それが達成できたことを嬉しく思う。海外との交流も順調で、JYMA がアジアのリーダーとしての立場を作りつつある。

ただ、前半の NST 及びクリニックが今ひとつ活性化しなかったことが残念。また、ユースセラーの取り込みと育成が引き続き重要な課題となろう。

新たな入り口を作ることを前向きに考えていかねばならない。

09年度は、08年度の目標と成果をそのまま活かしつつ、さらに、これからのセラーを育てることに注力し、そのための仕組み作りに前向きに取り組んでいきたい。また、ロンドン五輪を目指した女子マッチセラーの育成と実績を残していくことが重要である。

なお、JYMA 会長の今年の重要な仕事の一つとして、国内外に向けたオフィシャルな窓口として、今まで以上に貢献すること、及び女子マッチの活性化を目指した海外との折衝の強化を掲げておきたい。日本 (JYMA) がアジア圏のリーダーとして、海外諸国と連携してレベルアップに取り組んでいくことも重要な課題である。